

議会だより

KIJO

令和6年3月議会

No. 144

発行所：宮崎県木城町議会
発行日：令和6年4月17日
印刷：有限会社 ふくしげ印刷

- ◆臨時会・定例会報告・・・ 2
- ◆一般質問(4名登壇)・・・ 10
- ◆まちの話題・・・・・・・・ 14



令和6年度 一般会計予算決まる!

55億4,800万円

【対前年度7億6,500万円増(16.0%増)】

※ 前年度の令和5年度の当初予算は骨格予算(選挙により政策的経費等を除く、義務的経費等のみを計上した予算。)です。

令和6年度 一般会計予算 歳入内訳

(※数字は予算額。総額に合わせて端数調整しています。)

区分構成比	歳入予算額	前年度比
自主財源 63.0%	町税	21億6,349万円 8,553万円 増
	寄附金	6億 200万円 増減なし
	使用料及び手数料	6,862万円 144万円 増
	繰越金	5,000万円 増減なし
	分担金及び負担金	2,687万円 346万円 増
	繰入金	4億9,546万円 6,412万円 増
	諸収入外	8,665万円 3,275万円 増
依存財源 37.0%	地方交付税(特別) ・その他交付金	7億 92万円 5,457万円 増
	国・県支出金	10億6,198万円 4億2,613万円 増
	町債	2億9,200万円 9,700万円 増
総額	55億4,800万円	7億6,500万円 増

※各予算額は総額に合わせて、端数調整しています。

令和6年度 一般会計予算 歳出内訳

(※数字は予算額。総額に合わせて端数調整しています。)

議会費	総務費	民生費	衛生費
			
6,849万円	13億6,552万円	13億2,669万円	4億4,741万円
257万円 減	1億1,544万円 増	1億 372万円 増	6,581万円 減

農林水産業費	商工費	土木費	消防費
			
7億3,442万円	1億9,149万円	2億2,842万円	2億 69万円
3億7,980万円 増	2,214万円 減	7,125万円 増	2,714万円 増

教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金
			
7億1,762万円	2,251万円	1億9,443万円	2万円
1億2,748万円 増	553万円 増	2,976万円 増	増減なし

予備費

5,028万円
460万円 減

※ 増減は、前年度（平成5年度）との比較金額になります。



総務財政課

電気自動車（公用車）の購入

2,829,000円

（総務財政課）

公用車が更新時期となり、木城町はゼロカーボンシティ宣言を行っているので、二酸化炭素排出削減のため今回、電気自動車を購入するものです。

大阪・関西万博自治体参加 催事出店負担金

3,000,000円

（総務財政課）

大阪・関西万博に、西都市と西米良村と木城町で神楽を披露するための催事出店負担金となります。

全国小さくても輝く自治体フ ォーラムin木城町実行委員会 補助金

1,000,000円

（総務財政課）

自立を目指す小規模自治体の維持と発展をはかることを目的とした交流会です。全国のフォーラム加盟自治体から木城町へ集まって講演会やテーマに沿った分科会が行われます。そのための補助金です。

消防団新基準活動服購入

4,312,000円

（総務財政課）

今までの水色一色であった消防服にオレンジのライン（線）が入り、視認性が高められた新たな消防服を購入する予算です。

みどりの杜「木城学園」グラ ウンド植樹記念事業

2,150,000円

（総務財政課）

木城学園のグラウンド整備に伴い、記念事業として植樹祭や記念講演などを行うための予算です。



指定避難所用 扇風機・簡易 ベット購入

996,000円

（総務財政課）

指定避難所（木城学園）の環境改善のため、大型扇風機（14機）と簡易ベット（30台）を購入する予算です。

環境整備課・福祉保健課

木造住宅耐震関係事業補助金

1,780,000円

(環境整備課)

- ①木造住宅耐震診断促進事業補助金
780,000円
- ②木造住宅耐震改修事業補助金
1,000,000円

平成12年5月31日までに着工された木造住宅の耐震診断及び改修に対する補助金です。

町道新設改良工事

41,150,000円

(環境整備課)

町内にある町道3路線を道路改良や道路舗装工事をするための予算です。
(大字椎木地区2路線、大字川原地区1路線)

第3期木城町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委託料

2,288,000円

(福祉保健課)

令和7年度から令和11年度における、木城町の福祉の各分野における共通的な事項や地域生活課題の解決するため施策内容や体制についての計画を策定する予算です。

橋梁定期点検業務委託料

9,460,000円

(環境整備課)

町内にある107橋を順次点検をする委託料です。今年度は15橋を行う予定です。

乳児医療扶助費

2,075,000円

(福祉保健課)

無料

0歳児から高校3年生までの(18歳に到達した年度の最初の3月31日)までの子どもが医療機関での一部負担の支払いを助成(無料)する事業の予算です。

高齢者支援事業

9,158,000円

(福祉保健課)

物価高等や保険料上昇に伴い高齢者に対して(65歳以上、税金等を完納)に一人あたり5,000円を支給して生活を支援するための予算です。

福祉保健課

第3期子ども・子育て支援事業計画策定業務

2,662,000円

(福祉保健課)

令和7年度から令和11年度における、幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需要計画を策定する予算です。

新型コロナワクチン接種委託料

7,175,000円

(福祉保健課)

高齢者（65歳以上）に対してコロナワクチン接種の全額を無料とするものです。また、64歳以下につきまして半額の負担で接種できるようにする予算です。

町外の医療機関におきましても前記と同様に接種を受けられるように別費目予算（扶助費）として予算が決定しています。

木城町児童館・児童クラブ実施設計委託料

119,737,000円

(福祉保健課)

令和7年度に建設予定の児童館・児童クラブ建物の設計委託料です。



診療所等継承支援事業補助金（木城クリニック）

14,201,000円

(福祉保健課)

木城クリニックにおける医師の雇用のための補助金です。

社会福祉協議会経営支援補助金

11,000,000円

(福祉保健課)

社会福祉協議会に対する経営健全化を図るための補助金です。

産業振興課・教育課・地域政策課

木城町産牛肉PR補助金

1,600,000円

(産業振興課)

木城産の牛肉を宣伝するため、木城ふるさとまつりでの精肉販売や友情都市である埼玉県毛呂山町で行われる産業まつりでの焼肉販売を助成する補助金です。

義務教育学校（木城学園）海外派遣事業補助金

5,778,000円

(教育課)

木城学園児童・生徒の生徒約20名を台湾に派遣して、現地の児童・生徒と交流を行い、日本以外の歴史や文化を学び見識を深めるとともに国際感覚を身につけるための事業です。

日本酒プロジェクト醸造委託

3,300,000円

(産業振興課)



木城の特産物としてふるさと納税の返礼品や酒店で販売する、木城産の酒米（ちほのまい）を使った日本酒「城」と「Alabanza（アラバンサ）」を製造するための委託料です。

定住促進奨励報償費
(就学準備・入学祝金)

7,330,000円

(地域政策課)

小学校入学（木城学園においては前期課程）の児童に2万円、中学校入学（木城学園においては後期課程）の児童には3万円を就学準備金として支給します。また、高校生には5万円、大学・専門学校生には10万円を入学祝金として支給します。

義務教育学校（木城学園）
外構工事請負費

314,585,000円

(教育課)

木城学園のグラウンドの整備やテニスコート（2面）の整備工事の費用です。

学校給食補助金

25,058,000円

(教育課)

木城学園生徒の給食費を無償化にするための補助金です。

令和6年度 特別会計予算、簡易水道・下水道事業会計 予算

【特別会計】

会 計 名	予 算 額 ※千円単位端数調整	前年度比
国民健康保険事業特別会計	7億5,100万円	7,100万円 減少
介護保険特別会計	7億5,700万円	900万円 増加
後期高齢者医療特別会計	8,500万円	500万円 増加
合 計	15億9,300万円	8,500万円 増加

【公営企業会計】

会 計 名	予算額（支出） ※千円単位端数調整	前年度比
簡易水道事業会計	3億2,523万円	1億5,077万円 減少
下水道事業会計	3億 437万円	1億 78万円 減少

令和5年度 補正予算

【歳出】

地域介護・福祉空間整備等 補助金

7,700,000円

(福祉保健課)

福祉事業所が災害時に備えての非常用発電設備を設置するための補助金です。国から100%補助の事業になります。



川原自然公園整備事業

1,393,551,000円

(地域政策課)

川原自然公園を観光や宿泊施設だけでなく、新たに人々の交流拠点としての機能を持たせるための再整備を行う予算です。この事業には国の補助金約6億3,893万円が充てられます。



(写真：議員による川原自然公園工事現場視察)

◆全員賛成で可決した議案（全議案）

令和5年度木城町一般会計補正予算（第8号）
令和5年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
令和5年度木城町介護保険特別会計補正予算（第5号）
令和5年度木城町簡易水道事業会計補正予算（第3号）
令和5年度木城町下水道事業会計補正予算（第2号）
木城町くらしの再生基金条例の制定について
木城町一ツ瀬川地区土地改良事業基金条例の制定について
木城町こども家庭センターの設置及び管理に関する条例の制定について
木城町役場課設置条例の一部を改正する条例の制定について
木城町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
木城町定住促進条例の一部を改正する条例の制定について
木城町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について
木城町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
木城町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
木城町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
木城町空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について
木城町消防団条例の一部を改正する条例の制定について
木城町消防団に係る消防功労金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
令和6年度木城町一般会計予算
令和6年度木城町国民健康保険事業特別会計予算
令和6年度木城町介護保険特別会計予算
令和6年度木城町後期高齢者医療特別会計予算
令和6年度木城町簡易水道事業会計予算
令和6年度木城町下水道事業会計予算
国営造成施設管理体制整備促進事業の事務の委託に関する規約の廃止について
人権擁護委員候補者の推薦について
令和5年度木城町一般会計補正予算（第9号）

議長交際費の報告

令和5年度

20,898円

研修先への謝礼品等

農家の担い手対策として地域おこし協力隊の活用に取り組む考えはあるのか。



答 地域おこし協力隊の活動ができるよう支援していく。

木城の農業を守る対策について

問 物価高騰や販売価格の低下で米農家が減少していく中、本町でも2010年から2015年の5年間で約317aもの耕作放棄地が増え、今後も耕作放棄地が増えると予想されるが本町での対策は。

答 町長

農地中間管理機構による農地バンクの活用、交付金等による農地の再生事業、耕作放棄地再生による新たなビジネスの創出に取り組んでいる。

問 日本の農業従事者の平均年齢は70歳、70歳を過ぎると体力面や体調不良などによりリタイヤされる農家が増えると予想される。本町での水稻従事者も令和元年から令和5年の5年間で51名減少している。高齢化と新規参入者がいない水稻分野では深刻な状況、今後の担い手対策は。

答 町長

農業の技術、知識の習得への支援、就農準備等に必要な資金手当ての支援、生産基盤となる農地の円滑な取得等に対する支援、就農や経営向上のために必要な情報支援を考えている。

問 今後、地震や災害、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、中東問題や北朝鮮、中国との国交問題など予期せぬ危機がある中、食料確保が大事になる。日本の食料自給率は実に38%しかない。高齢化と担い手不足が進めばほぼ100%ある米の食料自給率も下回ってくると予想される。地域が作業技術や地域交流など責任を持って地域おこし協力隊を育てる仕組みを考えているが、町長の考えは。

答 町長

地域の方々が技術的指導を行いながら併せて地域の交流を図っていただければ地域おこし協力隊が担い手対策にも寄与し、ひいては移住、定住にもつながればと思う。地域おこし協力隊の活動ができるようにしっかりと支

援していきたい。

木城学園における部活動の地域移行、連携について

問 全国的に学校数の減少、それ以上に進む少子化により部活動が持続困難な状況の中、木城学園の部活動の現状と地域移行連携についての考えは。

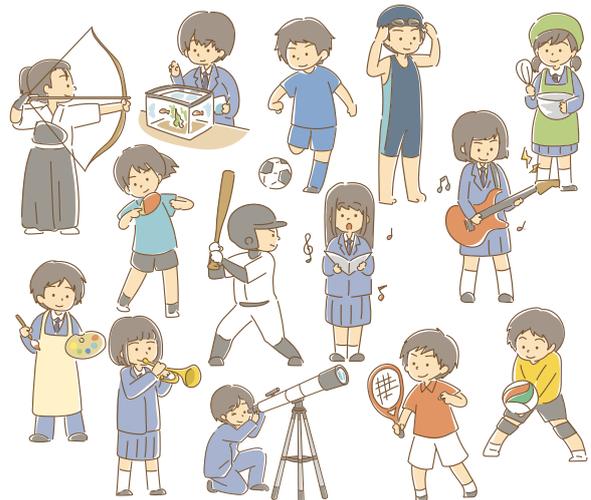
答 教育長

現在5つの部活動と3つの地域クラブが活動している。全生徒の65%が加入している。地域の実情に応じた部活動の地域連携、移行の在り方について検討し、木城ならではの体制を整備していく。

問 5つの部活動と3つの地域クラブがあるが文化芸術がないのは寂しい。加入していない35%の子どもたちへの対策が必要。現代の子が何を考えているのか、文化芸術には興味はないのか、様々な子どもたちの想いを中学部活動という枠を超え子どもたちが求める居場所づくり、そして9年間を見通した義務教育学校の特色を活かした教育活動のためにもアンケート調査を行うべきと考えるが。

答 教育長

必要に応じて調査等を実施し、学校が主体となり長期的視点で検討できるよう支援していく。



木城学園の特別支援学級の指導方法 や指導内容は。

答 個々の児童・生徒の障がい、特性に応じた特別の教育課程を編成している。



木城学園について

問 木城学園の特別支援学級の授業は、それぞれの児童生徒にあった教科書や教材を使った授業を行っているのか。

答 教育長

特別支援学級在籍の児童生徒については、将来の進路まで見据えた上で、個々の児童生徒の障がい・特性に応じた特別教育課程の編成をしている。

また、児童生徒の個の障がいに応じた学習目標を設定し、教材・教具の工夫や指導方法を行っている。

問 グレーゾーンと呼ばれる児童が多くいることが知られており、合理的配慮が学校に求められているが、児童生徒の把握や対応はどのようになっているか。

答 教育長

グレーゾーンと呼ばれる児童生徒ということで捉えてみると、その把握は随時行っており、定期的に全教員で情報を共有している。

問 障がいのある児童も平等に教育を受ける権利があるので偏見や差別のない学校生活が望まれる。認知機能を上げるコグトレというトレーニング法があるが学校で使っているのか。

答 教育長

コグトレについては、学習の基礎トレーニングとして実施するなど、一部の特別支援学級や通常の学級で取り入れられている。

問 修学旅行で沖縄、海外派遣事業で台湾へ行っているが、その目的は何か、また成果はどうだったのか。

答 教育長

修学旅行については、沖縄県での独自の自然や文化、平和についての学びができ、社会学習の関連が深く、旅行先としてはふさわしいと思う。また、海外派遣事業で台湾へ行ったが、目的は異文化の体験交流等を通じて、

国際的視野を持った青少年を育成することを目的としている。

問 木城学園のALT（外国語指導助手）やJTE（日本人英語指導助手）の活用は必要不可欠だと認識しているが、現状の英語教育はどのようになっているのか。

答 教育長

まず、JTE（日本人英語指導助手）の方は木城学園にはおりません。ALTについては、派遣業務委託により現在1名が従事している。ALT（外国語指導助手）の効果は、教科担任を英語面でサポートすると共に、生きた英語の提供や児童生徒のコミュニケーション意欲や学習意欲の向上につながっている。

問 木城学園のホームページに教育方針や校風、独自の取組や学園の特色は何かといった内容は掲載されているのか。

答 教育長

地域に開かれた学校として、教育DXの一層の推進を図り、木城学園の良さをアピールできるようにしていく。

町道中川原～木の瀬川原線の道路について（木城浄化センター付近）

問 町道で一部狭くなっている（ボトルネック状）箇所について。

答 町長

これまで対話を重ね同意を取るようになってきたが、なかなか同意が取れていない。

問 土地収用法というのがあるが、ここまで踏みこむことは難しいのか。

答 町長

土地収用法は県に申請し審議をするので、私自身として土地収用法は慎重にやるべき。





有機農業をどこまで進めるのか。

答 令和9年度までに5.7ha達成したい。

問 有機農業を今期の就任中どこまで進めていきたいのか。

答 町長

2月に高鍋・木城2町のオーガニック憲章を策定した。町単独では、4月に木城オーガニックタウン推進協議会を立ち上げ、有機農業を普及するための協議を開始する。推進面積として、令和9年度までに5.7ha達成したい。それには有機農業への体制づくりが必要である。有機に対する理解を深める一つの手段として家庭菜園を通じてやっていく。また、小丸川をベースにした小丸川文化圏として椎葉、美郷、木城、高鍋の1村3町で有機農業の連携を進めていく。農業大学校、高鍋農業高等学校においてオーガニックコース学科の設置に向けて知事部局・教育委員会部局に強く働きかけていく。

問 慣行農業からの転換・新規就農者の経営、家庭菜園の推進のサポート体制が重要になってくるが具体的な計画はあるのか。

答 町長

行政的な支援から技術的な指導面までできるようなサポートの設置を令和6年度に計画している。

問 有機農業の裾野を広げるために、家庭菜園者の所得向上を目標として、個人の認証ではなく、組織として有機JAS認定に則った木城町独自の認定の仕組みをつくったらどうか。

答 町長

今2町連携で取り組んでいるので、家庭菜園まで有機JAS認証云々、独自認証というのは手が及ばない。まずは生産者の方に有機JAS認定を取って頂き、支援していく。有機農業者の仲間を増やしていくことに主眼であります。

問 木城町独自の有機JAS認定を売りにした流通促進班をつくってはどうか。

答 町長

手間暇をかけてつくったものに価値を付けて売る出口戦略まで考えているので、流通促進班は今後検討する。それ以外に販売戦略を企画提案するオーガニックプロデューサー、生産者の技術支援を含めた勉強会、生産者と実需者との商談会の開催、技術、経営のノウハウなどの多種多様な人材育成と支援体制を今後取り組む。

※有機農業は、食の安全、安心、次世代のためにより良い環境を残すということで訴えていくべき。厳しい課題もあるが、やり切ってもらいたい。



高レベル放射性廃棄物持ち込み拒否 条例を制定する考えは。

答 考えていない。



問 高レベル放射性廃棄物持ち込み拒否条例の基本的な考え方（①木城町では、現在及び将来の町民の健康と安心して暮らせる生活環境を保障し、自然と調和した地域づくりに務める。②現在に生きる我々は、健康で安心して暮らせる生活環境を将来に引き継ぐ責務を有する。③このため、木城町は如何なる場合においても放射性物質等の町内持ち込みを拒否し、この立場を汎く宣言する。④町民及び町長等は、放射線廃棄物及び原子力関連施設等に対する入手した情報は速やかに町民へ知らせなければならない。）をベースに今後、条例化を目指したいが、これについて町長の意見と感想をお聞きしたい。

答 町長

自然の恵みや豊かさを生かしながら、自然と調和した地域づくりが一番必要だと考える。「木城町の環境をよくする条例」・「木城町景観例」を制定し、「木城町ゼロカーボンシティ宣言」を行っているので、これで十分だと認識している。

家屋の耐震化について

問 能登半島地震では家屋倒壊での死者が約9割で家屋の耐震化が問題になったが、本町の耐震化率と耐震性が不足している住宅の数は。また、対策は。

答 環境整備課長

耐震化率77.7%。耐震不足推計値506棟（H29年現在）

答 町長

耐震診断はしても金銭的に改修工事までは手が回らないこともあるので、改修費用等についての補助制度の検討を考えている。



高齢者外出支援サービス事業について

問 高齢者外出支援サービス事業の利用者が増加し、利用できないケースも多々あると聞く。特に車椅子で宮崎市内等への通院（介護タクシー往復32,000円）では、高齢者世帯の経済的負担増で、病気の治療も控えるような状況も起こり得るのではないかと懸念するが、高額な交通費に対し補助の仕組みも必要ではないか。

答 町長

出来るだけ利用者が重ならないように、車の空き情報をしっかりとお知らせする対策をとるので、これを参考にして受診日を予約して頂くとは有り難い。利用者が利用できるように心がけて行きたい。



学校のトイレに生理用品設置について

問 12月議会で要望した学校トイレに生理用品設置の検討結果は。

答 教育長

教育的配慮により、2階、3階の女子トイレ及び多目的トイレに配備した。この事が、貧困問題の解消に繋がる一つとも考えられる。



まちの話題



4月に町内に新規開店するお店を紹介します。

昼と夜の営業形態を変えて営業します！



店名：
dining café SUN
(ダイニングカフェ・サン)
【昼】11:00～15:00 営業

カフェ、軽食、お弁当を提供します。
キッズスペースや半個室があります。



店名：
dining ber MOOM
(ダイニングバー・ムーン)
【夜】18:00～22:00 営業

居酒屋、スナック

場所：木城町大字椎木4201-1（出店地区、コマドさんの県道を挟んで斜め前）

*ひとこと：昼はママのたまり場として、夜はパパのたまり場として町が賑わってくれるといいです。
(1次回から2次会までできますよ。)

代表者：黒木 智絵 さん 予約等は080-1726-3343まで
定休日：日曜日、月曜日

議会傍聴をしてみませんか！

次の議会定例会は**6月**です。

定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局までお尋ねください。
TEL0983-32-2213 (直通)

議 長 甲 斐 政 治	発行責任者	委員	委員	副委員長	委員長	編集委員
		員	員	長	長	
		荒川	矢野	久保富士子	眞鍋	
		浩也	哲也	博		

木城町ホームページに議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、
会議録などをご覧いただけます。

〈URL〉 <https://www.town.kijo.lg.jp>



木城町HP



木城町議会HP

議会傍聴メーター

2023年4月議会から1年間に議会傍聴に来られた人数です。

108